

平成18年度 定期作況報告

(10月20日現在)

北海道立畜産試験場

新得本場

I 気象概況

- 9月下旬: 気温は平年比+0.1℃で平年並みだった。降水量は平年比93%で平年並みだった。
日照時間は平年比128%でやや多かった。
- 10月上旬: 気温は平年比+1.6℃でやや高かった。降水量は平年比231%でかなり多かった。
日照時間は平年比102%で平年並みだった。
- 10月中旬: 気温は平年比-0.4℃で平年並みだった。降水量は平年比280%でかなり多かった。
日照時間は平年比106%で平年並みだった。

以上本期間の気象は、気温は期間を通して平年並みで推移した。降水量は集中的な降雨により10月上旬および中旬にかなり多くなった。日照時間は期間の始めにやや多かったものの平年並みで推移した。

	9月下旬			10月上旬			10月中旬		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温 (℃)	12.9	12.8	0.1	12.2	10.6	1.6	8.4	8.8	△0.4
最高気温 (℃)	17.8	17.6	0.2	16.9	15.6	1.3	14.9	14.1	0.8
最低気温 (℃)	7.7	8.3	△0.6	8.0	6.4	1.6	2.3	3.8	△1.5
降水量(mm)	49.5	53.0	△3.5	109.5	47.4	62.1	81.5	29.1	52.4
降水日数(日)	2	4.0	△2.0	4	4.5	△0.5	5	3.7	1.3
日照時間(時間)	64.7	50.4	14.3	46.7	45.6	1.1	57.1	53.7	3.4

- 注1. 各数値は旬の平均または合計。△印は減を示す。
- 注2. 10月11日から12日にかけて気象システムに不具合が生じたため、両日のデータは新得町のアメダスのデータを代用した。
- 注3. 平年値は前10か年の平均値。ただし、平成11年11月気象システムを更新移設したため、気温の平年値については新旧データから回帰式を作成し、旧システムでの平年値を補正して用いた。その他の項目は従来のシステムでの値をそのまま用いた。

II: 作況

1. 牧草

(1) チモシー・アカクローバ混播 (採草型)

作況 3番草: 良

事由

3番草: 10月になって牧草の伸びが停滞したため刈り取りは平年より12日遅れた。草丈は、チモシーは平年並みであったがアカクローバは5cm低かった。草丈は伸びなかったが、生育期間が長くなったため乾物率が高まり乾物収量は200kg/10aで平年より34kg/10a(平年比120)多かった。3番草の作況は良である。

調査項目	3年目草地			
	本年	平年	比較	同比
3番草				
刈取月日(月・日)	10.18	10.6	12	
草丈(cm)	TY	42	42	0
	RC	25	30	△5
生草収量(kg/10a)	887	852	35	
乾物収量(kg/10a): 3番草	200	166	34	120
1～3番草通算	997	956	41	104
マメ科率(生草%)	1.2	17.1	15.9	

注1. TYはチモシー「センボク」、RCはアカローバ「サッポロ」の略。

注2. 平年値は前7か年中、平成10年(豊)、平成12年(凶)を除いた5か年の平均値。

注3. △印は減を示す。

2) オーチャードグラス・シロクローバ混播(放牧型)

作況 5番草: やや不良

事由

5番草: 草丈はほぼ平年並みであったが、乾物収量は、99 kg/10a で平年より9 kg/10a 少なく平年比は92であった。作況はやや不良である。

調査項目	3年目草地			
	本年	平年	比較	同比
5番草				
刈取月日(月・日)	9.29	9.30	△1	
草丈(cm)	OG	44	41	3
	WC	—	24	—
生草収量(kg/10a)	545	634	△89	86
乾物収量(kg/10a): 5番草	99	108	△9	92
1～5番草通算	844	866	△22	97
マメ科率(生草%)	0.0	4.5	△4.5	

注1. OGはオーチャードグラス「キタミドリ」、WCはシロクローバ「カリフォルニアラジノ」の略。

注2. 平年値は、前7か年中、平成11年(豊)、平成15年(凶)を除いた5か年の平均値。

注3. △印は減または早を示す。

2. とうもろこし

作況：不良

事由

収穫は平年より3～8日遅かった。収穫時の熟度はほぼ平年並であった。総体乾物収量の平年比は「ワセホマレ」が83、「オーロラ82」が90でともに少なかった。乾雌穂率は平年に比べ4～5%低かった。TDN収量の平年比は「ワセホマレ」が82、「オーロラ82」が88で、両品種を平均すると85であった。以上から本年の作況は不良と判断された。

項目	ワセホマレ				オーロラ82			
	本年	平年	比較	平年比	本年	平年	比較	平年比
収穫期(月日)	9.26	9.23	3		10.02	9.25	7	
収穫時稈長(cm)	188	193	△5		209	214	△5	
収穫時熟度	黄中	黄中			黄初・中	黄中		
生草収量(kg/10a)								
雌穂	867	1104	△237	79	1147	1452	△305	79
茎葉	2145	2471	△326	87	3447	3812	△365	90
総体	3012	3575	△563	84	4594	5265	△671	87
乾物率(%)								
雌穂	51.8	53.0	△1.2		49.0	47.8	1.2	
茎葉	22.1	21.4	0.7		21.4	19.6	1.8	
総体	30.7	31.5	△0.8		28.2	27.4	0.8	
乾物収量(kg/10a)								
雌穂	450	585	△135	77	561	694	△133	81
茎葉	475	530	△55	90	736	748	△12	98
総体	925	1115	△190	83	1297	1442	△145	90
乾雌穂率(%)	48.6	52.5	△3.9		43.3	48.2	△4.9	
TDN収量(kg/10a)	659	806	△147	82	905	1025	△120	88
TDN含量(%)	71.2	72.3	△1.1		69.8	71.1	△1.3	

注1. 平年値の「ワセホマレ」は前7か年中、平成16年(豊)、平成14年(凶)を除いた5か年の平均値、「オーロラ82」は前5か年の平均値。

注2. △印は減を示す。

注3. TDN収量は新得方式(乾雌穂重×0.85+乾茎葉重×0.582)

滝川試験地

I 気象概況

9月下旬

気温は平年比+0.1℃で平年並みであった。降水量は平年比36%で少なかった。日照時間は平年比143%で多かった。

10月上旬

気温は平年比+2.2℃で高かった。降水量は平年比62%でやや少なかった。日照時間は平年比124%でやや多かった。

10月中旬

気温は平年比-0.9℃でやや低かった。降水量は平年比146%でやや多かった。日照時間は平年比29%で極めて少なかった。

以上本期間の気象は、9月下旬の寡雨・多照、10月上旬の高温、10月中旬の寡照が特徴的であった。

	9月下旬			10月上旬			10月中旬		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温(℃)	14.0	13.9	0.1	14.0	11.8	2.2	8.7	9.6	△0.9
最高気温(℃)	19.4	19.2	0.2	18.5	16.7	1.8	13.7	14.8	△1.1
最低気温(℃)	8.5	8.6	△0.1	9.5	6.7	2.8	3.6	4.4	△0.8
降水量(mm)	18	50	△32	34	55	△21	57	39	18
降水日数(日)	4	5	△1	5	5	0	9	6	3
日照時間(時間)	71.6	50.0	21.6	52.3	42.2	10.1	13.4	46.1	△32.7

注1. 滝川地域気象観測所のAMeDAS観測値。

注2. 日照時間は太陽電池式日照計(新)による。

注3. 平年値は前10か年の平均値。

注4. △印は減または早を示す。

II. 作況

1. 牧草

1) オーチャードグラス・アカクローバ混播(採草型) 作況: 4番草 平年並

事由

4番草: オーチャードグラスの草丈は平年より4cm高く、アカクローバの草丈は平年と同じであった。総じて作況は平年並みである。

調査項目	3年目草地			
	本年	平年	比較	同比
4番草				
草丈(cm)				
	OG	24	20	4
	RC	13	13	0

注1. OGはオーチャードグラス「キタミドリ」、RCはアカクローバ「サッポロ」の略である。

注2. 平年値は、前7か年中、平成14年(豊)、平成12年(凶)を除いた5か年の平均値。

2) チモシー・アカクローバ混播(採草型) 作況: 4番草 平年並

事由

4 番草：チモシー、アカクローバの草丈はほぼ平年並であった。

調査項目		3 年目草地			
		本年	平年	比較	同比
3 番草					
草丈 (cm)	TY	17	17	0	
	RC	11	13	△2	

注1. TYはチモシー「センボク」、RCはアカクローバ「サッポロ」の略

注2. 平年値は、前7か年中、平成14年（豊）、平成12年（凶）を除いた5か年の平均値。

注3. △印は減または早を示す。

3) オーチャードグラス・シロクローバ(放牧型) 6 番草： 平年並
事由：

6 番草：オーチャードグラス、シロクローバの草丈はほぼ平年並みであった。

調査項目		3 年目草地			
		本年	平年	比較	同比
6 番草					
草丈 (cm)	OG	27	21	6	
	WC	15	12	3	

注1. OGはオーチャードグラス「キタミドリ」、WCはシロクローバ「カリフォルニアラジノ」の略である。

注2. 平年値は、前7か年中、平成14年（豊）、平成12年（凶）を除いた5か年の平均値。

2. とうもろこし 作況 平年並

事由：

平年並の10月2日に収穫した。収穫時の熟度は黄熟中期であった。生草収量は平年の93%であったが、乾物率が高く乾物収量は平年の105%であった。乾雌穂率は54.6%で平年よりやや低かった。総体の乾物率は33.1%で平年より高かった。TDN収量は平年の104%であった。以上から、本年の作況は平年並みと判断される。

項目	本年	平年	比較	平年比
収穫期 (月日)	10.2	10.2	0	
収穫時稈長	254	258	△4	

収穫時着雌穂高	115	105	10	
収穫時熟度	黄中	黄中	—	
生草収量	5425	5844	△419	93
乾物収量	1795	1713	82	105
乾雌穂重	979	963	16	102
乾雌穂率	54.6	55.5	△0.9	
乾物率	33.1	29.3	3.8	
T D N収量	1307	1255	52	104
D C P収量	105	101	4	104

1. 平年値は、前6カ年のうち平成16年(異常年)を除いた5カ年の平均値。

注2. △印は減または早を示す

注3. 供試品種は「3845」